

井手町 議会だより

第38号

平成24年(2012年)
8月発行

発行 井手町議会
編集 議会広報編集委員会
京都府綴喜郡井手町井手南玉水67
☎ 0774-82-6172 (直通)
<http://www.town.ide.kyoto.jp/>



全線復線化が待たれるJR奈良線



もくじ

- 5月臨時会で決まったこと..... 2P
- 6月定例会で決まったこと..... 4P
- 町政を問う・一般質問..... 6P
- 意見書..... 12P
- 委員会報告..... 13P
- 輝く子どもたち・編集後記..... 14P

2012年京都人権啓発推進会議街頭啓発

5月臨時会で 決まったこと

5月臨時会において新たに議会構成が決まりました。

新しく議長に村田忠文議員、副議長に岡田久雄

議員、議会選出監査委員に岩田剛議員がそれぞれ選出されました。また各委員会構成も決まりました。

議長 村田忠文議員

副議長 岡田久雄議員

監査委員 岩田剛議員

を選出

ごあいさつ



議長 村田 忠文

立秋とは名ばかりの暑さが続いておりますが、

住民の皆様におかれましては、益々ご健勝のこと

とお慶び申し上げます。

日頃は、町議会に對しましてご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

去る5月7日の臨時会におきまして、議員各位のご推挙を賜り、不肖私が議長の重責を務めさせていただきますことになりました。

誠に身に余る光栄でありますとともに、その責務の重大さに身の引き締まる思いであります。

私は議会議員として14年間 井手町の発展と住民福祉の向上、並びに教育・環境問題等の解決に向けて努力してまいりました。

ここに皆様のご推挙を受けましたうえは、身を挺してそのご厚情に對しお応えする覚悟を新たにしているところであります。

議会運営につきまして、は、公正無私を旨とし、言論の府として町議会が

円滑に運営されますよう誠心誠意努力する所存であります。

本町の人口は6月末現在8,061人高齢化率は28%を超えようとしております。まさに人口の減少と少子高齢化という大きな課題を抱えています。

これらの課題を克服するためには、JR奈良線の全線複線化、白坂地区の産業ゾーンとしての開発、町の東部に宇治木津線の道路新設などの早期実現が必要であると考えております。

住民が安心して暮らせるまちづくりを目指し、全力で職責を全うする覚悟であります。

今後とも住民の皆様をはじめ関係各位のご支援ご協力を心からお願い申しあげまして、就任のごあいさついたします。

議長選挙

村田 忠文 議員 10票
谷田 操 議員 2票

副議長選挙

岡田 久雄 議員 10票
村田 晨吉 議員 2票

**議会選出
監査委員**

岩田 剛 議員
(賛成多数)

専決処分

●組織条例の一部を
改正する条例

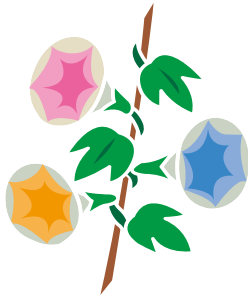
●税条例の一部を
改正する条例

出先機関のうち、いづみ人権交流センター、いづみ児童館、地域包括支援センター及び保健センターについて課と同様の扱いに改めるための改正です。

地方税法の一部を改正する法律(被災地における課税の特例措置の延長)に伴う所要の改正です。

(賛成全員)

(賛成全員)



事業の確定等に伴なう
精算のため6,119万
3千円を減額するもので
す。

(賛成全員)

一般会計(第5回)

平成23年度
補正予算

都市計画税条例の 一部を改正する条例

地方税法の一部を改正
する法律(被災地におけ
る課税の特例措置の延
長)に伴なう所要の改正
です。

(賛成全員)

国民健康保険税条例の 一部を改正する条例

「東日本大震災に係る
被災居住用財産の敷地に
係る譲渡期限の延長の特
例」が震災後3年から7
年に延長されたことに伴
なう所要の改正です。

(賛成全員)

同意案件

副町長選任



中谷 浩三氏
昭和27年8月3日生

井手浜田
(賛成多数)

新しい議会構成が 決まりました

総務文教 常任委員会

◎委員長 丸山 久志
◎副委員長 西島 寛道
◎委員 村田 晨吉
◎委員 岡田 久雄
◎委員 岩田 剛
◎委員 中坊 陽

議会運営 委員会

◎委員長 木村 武壽
◎副委員長 森田 泰雄
◎委員 木田 鈴美
◎委員 岡田 久雄
◎委員 丸山 久志
◎委員 谷田 操

交通対策 特別委員会

◎委員長 中坊 陽
◎副委員長 西島 寛道
◎委員 木田 鈴美
◎委員 古川 昭義
◎委員 村田 忠文
◎委員 谷田 操

産業厚生 常任委員会

◎委員長 木田 鈴美
◎副委員長 古川 昭義
◎委員 森田 泰雄
◎委員 村田 忠文
◎委員 谷田 操
◎委員 木村 武壽

議会広報 編集委員会

◎委員長 木村 武壽
◎副委員長 岩田 剛
◎委員 村田 晨吉
◎委員 岡田 久雄
◎委員 森田 泰雄
◎委員 丸山 久志

城南衛生管理 組合議会

◎議員 西島 寛道
◎議員 中坊 陽

京都地方税 機構議会

◎議員 岡田 久雄

お詫びと訂正

5月発行の議会だより

第37号14ページで掲載し
ました、一般質問「奈良
の線複線化の負担金は」の
答弁の中で、京都市負担
金113万円が1,15
3万円の誤りでありまし
たので訂正しお詫び申し
上げます。

京都府後期高齢者 医療広域連合議会

◎議員 丸山 久志

6月定例会で 決まったこと

6月補正では過去最大 1億8,476万円を計上

防災空地整備に 約3,200万円
緊急雇用創出事業に 約4,800万円
道路改良に 4,600万円

平成24年度 補正予算

●一般会計(第1回)

平成24年度一般会計の
補正で補正総額1億8,

476万7千円の増額、 補正後の一般会計予算は 38億1,976万7千 円となりました。	1,690万円
主な歳出	高齢者世帯見守り活動 60万円
・揭示板購入	乳幼児食育指導相談等 110万円
・旧玉川共同浴場解体	緊急雇用創出事業 4,825万円
	道路改良

4,600万円	・都市計画基礎調査費 500万円
・JR玉水駅等概略設計 業務 500万円	・防災空地整備 3,289万円
・井手小学校フェンス改 修 850万円	・井手・多賀小学校のト イレ改修 1,000万円を計上。
財源	・国庫支出金900万円 ・府支出金6,732万円 ・町債 5,570万円 ・繰越金5,019万円
補正額は6月補正として は過去最大となる。	(賛成全員)

その他の議案

●平成23年度井手町 一般会計

繰越明許費繰越計算書

平成24年度中に全額執
行するものです。

【土木費】

道路新設改良費 6,210万円	玉川砂防公園整備 700万円
【消防費】	消防車庫整備 384万円

(賛成全員)

●町道の路線認定

路線名	町道04―15号線
起点	井手町北猪ノ阪44―2 終点
井手町北猪ノ阪44―3	経過地
町道04―04号線	町道04―05号線
連絡道路	

(賛成全員)

専決処分

●平成24年度井手町 国民健康保険特別会計 補正予算(第1回)

平成23年度の国民健康
保険特別会計の決算で赤
字見込となることから平
成24年度の国民健康保険
特別会計から796万8
千円を繰上充用するため
補正するものです。

●和解及び 損害賠償額の決定

井手町西垣内地内で本
町公用車が相手方の堀に
衝突し破損させたもの。
損害賠償額
5万7,750円。

(賛成全員)

繰越明許費とは

毎年度の歳出はその年度の歳入により充て、翌年
度に繰越すことが出来ないこととなっているが、
特別の事情により工事が年度内に完了出来ない場
合、例外として翌年度に繰り越して支出すること
が出来るものとされている。

人

事

農業委員(議会推薦)



中坊陽議員

S30.8.13生

(異議なし)
井手西垣内

飯田龍夫氏

S16.1.20生

井手里

教育委員



古川透子氏

S42.5.28生

(賛成全員)
井手下赤田

公平委員



上島勝廣氏

S25.7.5生

(賛成全員)
井手段ノ下

選挙管理委員 4人(賛成全員)



奥田一夫氏

S19.3.23生

井手北猪ノ阪



奥田英夫氏

S20.12.3生

多賀西南組



原田勲氏

S15.7.18生

多賀南久保



鷺山靖之氏

S18.8.30生

井手浜田

選挙管理委員補充員 4人



栗田善嗣氏

S23.10.4生

多賀西北河原



前田一明氏

S16.1.2生

井手中嶋



花田章氏

S16.1.13生

井手柏原



西田夢路氏

S24.5.15生

井手野神

京都府町村議会議員
研修報告

副議長 岡田久雄

7月25日にルビノ京都堀川で、京都府町村議会議員の研修会が開催されました。

第一部では、テレビで

お馴染みの政治コメンテーター三反園訓氏による『どうなる日本の政治』と題して講演がありました。

講演では、現在の野田政権の現状や維新の会など地域政党との関わり『税と社会保障の一体改革』の3党合意が次期総選挙後にどのような影響をもたらすのか。

総選挙では年金問題が争点になり、どの党が国民に安心を与えるかで勝敗が決するのではないかと。また、歴代総理の工ピソードを紹介されながら総理大臣になるための5条件について、分かりやすく、ユーモアを交え

第二部では、東京財団研究員の中尾修氏による『地方議会に求められるもの』と題して

① 地方議会の仕組み
② 地方分権を担える議会へ
③ 住民参加の重要性
④ 議会基本条例の広がり

⑤ 第30次地方制度調査会の論点
など5つの項目で講演がありました。

今回の研修を通して学んだことを議員活動に活かし、これからも住民の皆様信頼されるようさらなる議会の活性化に取り組んでまいります。



町政を問う

村 田 晨 吉 議員

- ◆ 道路標識・標示等の修復について
- ◆ 有害鳥獣対策について

木 村 武 壽 議員

- ◆ 町内の府道及び町道の安全対策について
- ◆ 国民健康保険事業について

岡 田 久 雄 議員

- ◆ 通園、通学路の安全点検について
- ◆ 高齢者の安全を確保する
「救急医療情報キット」携帯用
「救急安全シート」の導入について
- ◆ 自治体災害協定について

中 坊 陽 議員

- ◆ 町道 22 号線（椿坂道）について
- ◆ 全国へ「小野小町」の
アピールについて

谷 田 操 議員

- ◆ 原子力事故対策について
- ◆ 放課後児童クラブについて
- ◆ 通学路問題



大正池（京都府景観資産・文化的景観）



村田 辰 吉 議員

通学路の安全対策は

Q 道路には様々な標識や標示があり、車の運転者に貴重な情報を与えてくれているが、路面表示の白線や菱形マークが薄くなったり、消えかけているところや、カーブミラーの下に取り付けてある「止まれ」「注意」等の表示板が経年変化の為、判読しがたいところが多くあり、特に小・中学生の通学路においては早急に道路管理者が安全対策を講じる必要がある。町の計画を問う。

した。
その会議の内容は、事故後の各小・中学校での取り組みや調査した通学路の危険箇所は33カ所であり、今後の対応を協議してきた。
また5月28日と6月5

日・8日の3日間現地調査を行い、府道関係については既に要望済のところもある。
カーブミラーについては、今後逐次整備をしていく予定である。

アライグマの防除対策は

Q テレビ番組の影響によって我が国に輸入されたアライグマの総数は二万頭くらいと推計されており、その一部が逃亡したり一般家庭で飼育出来ずに遺棄された結果、野外で定着・繁殖したものが国内32都道府県で確認されている。
アライグマの性格は、刺激しない限り横暴ではないが、刺激を与えると自分の身を守る為に横暴な性格を剥き出し、攻撃的になる。特に犬を連れて散歩している人は要注意である。
また、タヌキの出没情報もあるが、町の防除計画はあるか問う。

に基づき目撃者や農家などと相談の上、防除・駆除に努めている。
タヌキについては、特

定外来生物ではないので、法律に基づく防除計画は策定していない。

総務
西島理事

現地調査を実施 逐次整備をする

A 平成24年4月亀岡市で起きた交通事故は、社会を震撼させるものであった。
これをうけて本町として、住民特に児童生徒の尊い命と平穏な生活を守る為、6月16日に関係する行政機関を交えた交通安全緊急対策会議を開催

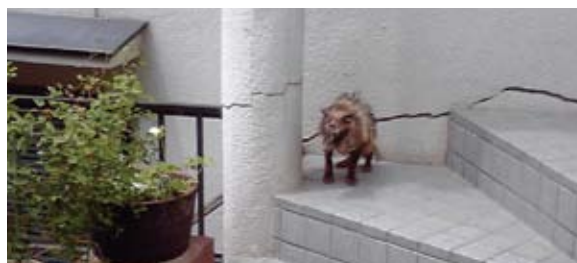
環境
産業課長
藤崎

防除実施計画に基づき対処

A 5月25日にアライグマの出没情報があったが発見出来なかった。
防除計画についてはパトロールを随時実施。通報があり次第、防除計画



捕獲されたタヌキ



民家に潜むタヌキ



捕獲中のタヌキ



木村 武 壽 議員

通学路 安全点検の結果は

Q 亀岡市で無免許・居眠り運転による交通事故・殺傷事件が発生した。

開催されたと聞いている。会議の状況について伺いたい。危険箇所での歩行者や子ども目線での意見を聞かれたのか。危険箇所は何箇所か。軽微なものについては直ちに改善されたのか。

教育
木田次長

危険箇所は33カ所

A 5月16日に山城広域振興局・田辺警察署・山城北土木事務所など府関係行政機関と井手町議会・綴喜交通安全協会・

区長会・青少年を育てる会・学校・PTA・子ども見守り隊など関係団体が参加し、井手町交通安全対策緊急会議を開催し

た。

会議では事故直後からの小・中学校での取り組みや各学校が集約した危険箇所についての報告を受け協議を行った。

また5月28日には府道上狛城陽線、6月5日には多賀地区の町道通学路、6月8日には井手地区の町道通学路の現地調査を緊急会議の関係者で実施した。

3日間の現地調査ではPTA・子ども見守り隊・学校など、現場をよく把握されている方々から、歩行者や子どもの目

線に立った意見を聞き、また運転者の視点からの検討もおこなった。

その結果危険箇所は33カ所であり、本町が所管する町道についてはカーブミラーや注意看板など既に一部取りかえや設置をしている。

府道については、井手小学校前の信号機の設置が要望された。

今後は関係機関と協議し、ただちに実施するものや中長期的に整備するものなど、計画的に改善を進めたい。



交通対策委員会による現地調査

国民健康保険の運営状況は

Q 3月定例会の補正予算計上時に、決算時点では8,000万の赤字見込みであるとの説明があった。国及び府からはどのような指導があったのか。井手町国保事業での独

自の取り組み状況は。医療費の縮減対策の効果、税収確保の取り組み状況、債務返済計画や赤字解消計画はあるのか。保険料の引き上げなどは考えていないのか。

保健医療
加賀山理事

運営状況は非常に厳しい

A 23年度は多額の歳入不足となることが判明した。

府より基金貸付制度を利用するよう助言を得て府の無利子貸し付けを受け、3月定例会に補正予算を計上した。

医療費の縮減については病気になる予防対策が必要で、特定検診の未受診対策に努めてきた。

23年度は前年度比205人増で受診率36・5%

またメタボ予防教室を開催し、集団・個別指導を行ってきた。

税収確保のため、京都税機構と連携を強化し、23年度の徴収率は前年度比1・78%の増加となった。

債務の返済は平成25年度から5年間毎年1,230万円が必要である。国保運営協議会の意見も聞き歳入確保を検討していきたい。



岡田 久雄 議員

通園・通学路の安全点検と改善は

Q 亀岡市で起きた痛ましい事故を受け、全国的に通園・通学路の安全点

検が行われている。

本町での取り組みは。

教育
木田次長

危険箇所は計画的に改善

A 事故発生後、直ちに小・中学校校長に危険箇所の集約を依頼し、その内容を井手町交通安全対策緊急会議に報告し、現地調査を三日間にわたって行った。

その結果、33ヶ所の改善が必要とされる箇所を確認し、第二回目の交通

安全対策緊急会議を開催した。

今後は、関係機関と具体的に協議し、それぞれの危険箇所について、ただちに改善を実施するものや、中長期的に整備するものなど、計画的に改善を進めていく。
児童・生徒への交通安全

全教育を徹底し、PTAや子ども見守り隊等学校や地域などとの連携を深

め、通園・通学路の安全を図っていきたい。



信号機設置を要望中の横断歩道

「救急医療情報キット」「救急安全シート」の導入を

Q 高齢化が進む本町において、増加するひとり暮らしの高齢者の安全と安心を確保するための対

策として、「救急医療情報キット」や携帯用「救急安全シート」の導入が必要と考えるが。

住民福祉
嶋田課長

すでに導入済み

A 現在本町では、一人暮らし高齢者は535世

帯、高齢者夫婦は398世帯となっている。

自治体間の災害協定先は

24年度当初より民生児童委員の高齢者の見守り活動の一環として、一人暮らし世帯を対象に緊急

連絡カード等を配布し、緊急時に対応できるよう人目につきやすい場所への設置をお願いしている。

Q 東日本大震災を機に自治体間の「相互応援協定」の意義があらためて

注目されている。
本町の自治体災害協定の締結先は。

総務
西島理事

協定締結先は6市3町及び各種団体・企業

A 京都南部都市災害時総合応援協定は、宇治市・向日市・長岡京市・八幡市・城陽市・京田辺市・大山崎町・久御山町・宇治田原町との間に物資等の提供及び斡旋並びに人員派遣や被災者の一時収容及び斡旋の協定

を締結している。
その他にも、近畿府県町村会災害時相互支援に関する協定を結んでいる。
また、各種団体、企業とも協定を結び、災害時に備えている。



中坊 陽 議員

町道22号線（椿坂道）の工事は

- Q** 本町を訪れる多くの人に親しまれ利用者も多い通称椿坂について問う。
- ① 上井手区公民館前から橋本橋まではすでに整備されたが、歩行者専用となっている。
- ② 橋本橋から浄水場までの整備状況と土地収用状況は。
- ③ 町道38号線の整備計画は。

建設 中村理事

明け渡し期限到来迄速やかに着手

- A** ① 現状では大型車の通り抜けは出来ないが、井手浄水場までの区間の完成を待つて通行出来るようにしたい。
- ② 本年8月20日が権利取得明け渡し期限となっているので、8月20日以降速やかに残りの区間の工事に着手したい。
- ③ 町道38号線については、

景観を重視した整備計画があり、観光入込客50万人を目指す事業として、自然と歴史が薫る道づくりに取り組む。



府道から橋本橋まで整備済の町道22号線

「小野小町ゆかりのまち」のアピールを

- Q** 小野小町は、晩年井手寺に住んだと伝えられている。
- 「小野小町ゆかりのまち」を全国的にアピールし、本町の魅力を広め入込客増加に努めている。

産業環境 藤崎課長

あらゆる手段を講じPRする

- A** 小野小町が晩年を過ごしたとされる伝承は本町をはじめ全国各地に残っている。
- 本町の伝承では、69歳で井手寺で没したといわれ、井手の「山吹」「蛙（かわず）」を詠んだ歌が残されており、本町とのかかわりを伺うことが出来る。
- 町発行のパンフレットに掲載するなど、他の歴史遺産と共にPRを図っている。
- 今後も町内の歴史と豊かな自然環境をまちづくりや観光に充分活かし、入込客の増加を図りたい。



ボランティアにより美しく掃除された小町塚



谷田 みさお 議員

原子力事故対策は 安定ヨウ素剤の備蓄を

Q 福島第一原発の事故
究明や規制機関の設置も
進んでいない中、大飯原
発で事故が発生した場合
の放射性物質の拡散予測
が発表されたが、大飯原
発再稼働に対する町長の
見解は。

本町において地域防災
計画を見直す考えはない
のか。また子どもの内部
被ばくの予防対策として
安定ヨウ素剤の小・中学
校への配備を求める。

汐見町長

再稼働は暫定的・限定的

A 大飯原発は免震棟や
防潮堤など安全対策が進
んでおらず、あくまで暫

定的・限定的なものであ
ると認識している。

総務
西島理事

地域防災計画の見直しは考えていない

A 原子力事故を想定し
た防災計画の見直しにつ
いては、本町は原発から
80キロメートル以上であ
り、事故を想定した計画
の見直しは考えていない。

教育
木田次長

安定ヨウ素剤の備蓄は国・府の動きを注視

A 安定ヨウ素剤の備蓄
は現在、京都府下の小中
学校では備蓄していない。
今後国・府の動向を注
視していく。

放課後児童クラブの開設時間は臨機応変に

Q 放課後児童クラブの開
設時間は6時までとな
っており実態にそぐわ
ない状態となっている。
時間延長など柔軟に対応
してはどうか。利用人数
活動内容、利用料の減免
状況、指導員の資格、勤
務条件・待遇は。

教育
木田次長

保護者の要望を汲んで対応

A 本年4・5月の利用
状況は、井手小27人・多
賀小17人 1日の最大利
用実績は井手小35人・多

賀小19人。

活動内容 室内での宿
題、折り紙教室、校庭
や体育館でボール遊び
や鬼ごっこなどを行っ
ている。

開設時間 規則では通常
日は午後6時までと
なっているが、保護者
の要望に応じて午後6
時30分まで対応してい
る。

授業料減免状況 制度に
よる減免はない。
指導員の資格 特に定め
ていない。

勤務条件 1時間あたり
850円から970
円、勤務時間が週20時
間を超える職員は雇用
保険に加入、健康保険
及び厚生年金保険は勤
務時間が週30時間以内
のため非加入。

府道に歩道設置を

Q 亀岡市の通学路での
悲惨な交通事故をうけて
通学路の点検が行われた
が、多賀南地区は府道を
通学路として利用する児
童が多く、登校時には通
過車両が多く危険である。
府道に歩道設置をする
計画はあるのか。また路
側帯をカラー舗装とする
等安全対策を行う必要が
あると思うが。

中村理事

府民公募型安心・安全整備事業で対応

A 府道の歩道設置に関
しては、既に府に要望を
行っている。
府道のカラー舗装や児
童の安全対策については、
各団体から府民公募型安
心・安全整備事業で提案
戴くこととしている。

書 見 意

「この健康基本法(仮称)」の 法制化を求める意見書

現在、うつ病や認知症などの精神疾患患者数は、300万人を超えており、急増状態にある。また、自殺と精神疾患とのかわりや児童期のこの健康問題も指摘されるなど、この健康と精神疾患の問題は、まさに国民誰にでも起こりうる生命・健康及び生活に影響を及ぼす重大な問題となっている。

しかしながら、一方では、この健康と精神疾患対策に関しては、一般医療との格差の是正、地域医療・チーム医療の推進、地域生活を支える保健福祉サービスの基盤整備や職場・学校におけるメンタルヘルスの充実など、今後推進すべき課題が山積状態にある。

このような中、平成23年7月には、厚生労働省の社会保障審議会医療部会において、都道府県が5年ごとに策定する医療計画に記載する疾病に、新たに精神疾患を追加することが決定され、都道府県医療計画に精神医療の機能分担や地域連携体制が必須事項として書き込まれることとなった。

このようなことも契機となり、現在、精神保健医療福祉の総合的、包括的な推進とともに、これらの施策に関する速やかな強化・充実が、全国的な運動として求められているところである。

ついては、国におかれては、この健康と精神疾患対策に関する基本理念や施策推進の基本となる事項を定める「この健康基本法(仮称)」を早期に制定されるよう、強く要望する。

平成24年6月29日

京都府綴喜郡井手町議会

(可決)

北朝鮮による日本人拉致問題の 早期解決を求める意見書

平成14年、北朝鮮は拉致を認めて5人の被害者を返した。しかし、その時以降、5人の被害者の家族の帰還以外まったく進展はない。

北朝鮮の地でわが国から救いの手を待っている被害者らの苦しみと日本の地で帰りを待つ家族の苦痛も10年延長した。

政府は現在、17人を北朝鮮による拉致被害者として認定している。それ以外に、いわゆる特定失踪者を含む多くの未認定被害者が確実に存在する。このことは政府も認めている事実だ。

平成18年以降、政府は首相を本部長とする対策本部を作り担当大臣を任命して被害者救出に取り組んでいるが、今だ具体的成果を上げることができていない。

昨年末、拉致の責任者である金正日氏が死んだ。北朝鮮が生きている被害者を死んだと言わざるを得なかったのは、独裁者金正日氏の責任を認めたくないためだった。その金正日氏の死は、後継者金正恩政権の不安定さを含め救出の好機となり得る。金正恩政権に強い圧力をかけ、実質的交渉に引き出さなければならぬ。

一方で、混乱事態が発生し被害者の安全が犯される危険も出てきた。混乱事態に備えた対策も早急に検討しなければならない。

拉致問題は重大な主権侵害でありかつ許し難い人権侵害であることは言うまでもない。

政府は、今年を勝負の年として、全精力を傾けてすべての拉致被害者を早急に救出するように強く要請する。

平成24年6月29日

京都府綴喜郡井手町議会

(可決)

尖閣諸島の実効支配を 推進するための法整備を求める意見書

尖閣諸島は、わが国固有の領土であることは歴史的・国際法的に明確であるが、中国が不当に領有権を主張している。このまま放置すればわが国の領土保全は、極めて不安定な状況になる恐れがある。国民の手による尖閣諸島購入を実現し、実効支配を早急に強化し「尖閣を守る」国家の意思を明確に示す必要がある。

また、わが国は世界第6位の排他的経済水域面積を有し、豊富な海底資源を保全し、国益を守るためにも国境となる離島の保全・振興、無人島となっている国境の島の適切な管理を進めていく必要がある。

よって、政府及び国会にあつては海洋国家日本の国益を保全するため、下記事項の実現を速やかに進めるよう強く求める。

- ① わが国の領土・主権を毅然たる態度で守る意志を内外に明確にするため、領域警備に関する必要な法整備を速やかに講ずること。
- ② わが国の領土主権・排他的経済水域等の保全上、重要な離島を振興する新法を制定すること。
- ③ わが国の領土主権・排他的経済水域等の保全上、重要な無人島について国による土地収用に係る措置等を定めた新法を制定すること。

平成24年6月29日

京都府綴喜郡井手町議会

(可決)

大飯原子力発電所3号機、4号機の 再稼働に関する意見書

消費税10%への増税に反対する意見書

(否決)

(否決)

第37回全国町村議会 議長研修会報告

議長 村田 忠文

町村議会議長研修会
が、5月29日(火)、
30日(水)東京のメル
パルクホールで開催さ
れました。

講演では『わが町の
議会活性化への取り組
み』『日米文化比較論』
『議員の健康管理術』
の講演があり、講演内
容も充実して非常に参
考となりました。

また、『今後の町村
議会のあり方と地方自
治法制度』について
テーマ

(1) 地方議会の自由
化。

(2) 議会の招集・専
決処分等。

(3) 議員として職責
を果たすための
留意点。

(4) 町村議会の議員
のなり手、担い
手。



の4つのテーマにつ
いてシンポジウムがあ
りました。

最後に意見交換があ
り、活発で有意義な研
修会でした。

井手町議会において
も、「できることか
ら」議会改革に取り組
んでおります。

住民の皆様のご協
力・ご支援をよろしく
お願いいたします。

学校給食センター 運営委員会報告

会長 西島 寛道

6月14日に学校給食
センター運営委員会を
開催し、議会からは岡
田副議長(監査役)と
西島議員(副委員長)
が出席しました。

委員会では、平成23
年度事業報告・決算報
告・会計監査報告並び
に平成24年度事業計
画・会計予算について
審議を行いました。

その後、原田栄養教
諭による学校給食につ
いての食事のマナーや
栄養バランスなどのお
話と、ビデオ学習を受
け実際に試食をさせて
頂きました。

今回の委員会の議題
には間に合いませんで
したが、関西電力の計
画停電に伴って本町の
学校給食センターが計
画停電区域に指定され
ており、予定日におい

て実際に停電が実施さ
れるかどうかに係わら
ず、あらかじめ食材の
発注・保管・調理業務
の関係上計画停電を想
定した給食献立変更を
行うことになりました。

献立変更に当たり栄
養バランスに十分に配
慮し、エネルギー量に
つきましても変更前と
変わらない量を獲得し
た献立内容になってい
ます。

学校給食では、安全
で安心のできる給食を
子供たちに提供し、食
事を通じて心身の健全
な発達と育成の向上を
願って取り組まれてお
り、井手町からも給食
費助成が行なわれてい
ます。今後とも皆様の
ご理解ご協力をよろし
くお願い致します。

交通対策 特別委員会報告

委員長 中坊 陽

本年4月23日亀岡市
で集団登校中の児童ら
の列に軽自動車が出っ
込み、10人の死傷者を
出した事故を受けて、
全国で通学路の安全点
検が行われています。

本町でも7月5日に

全議員での井手小・多
賀小学校前で児童の通
学と通過車両の実態調
査を行った後交通対策
特別委員会を開催しま
した。

行政側から井手町交
通安全対策緊急会議で



の各小学校別
通学路の点検
箇所・危険箇
所の状況・踏
査での意見等
の報告を受けま
した。

井手地区
町道14ヶ所・

町道9ヶ所

多賀地区

町道17ヶ所・

町道8ヶ所

各委員から
今後の対応な
どの質問や意
見がありまし
た。

井手の輝く子どもたち

井手町立いづみ保育園園長 寺島育美

子どもたちの育ちをみつめながら・・・

笑顔いっぱいの子どもたち

いづみ保育園は、1歳児 15人 2歳児 9人 3歳児 12人が在籍する全園児36人の小規模園です。

めざす子ども像として

- ★いきいきと生活ができる子ども
- ★人を思いやり、大切にできる子ども
- ★感じたことや、考えたことを表現できる子ども

人権保育の取り組みとして

- ★様々な遊びや、経験を通して保育者や友だちと関わる中で、思いやりの気持ちやふれあう心地よさを感じる。
- ★友だちとの関わりを通して、ひとりひとりの違いを認め、子どもたちがお互いを尊重しあう仲間づくりをする。

いづみ保育園では、子どもたちの発達と健康を保障する視点を大切に日々の保育に取り組んでいます。

●戸外遊び(素足)・散歩を積極的に取り入れて「歩く」活動を保障したり、ふれあい遊びを通して、リズム運動を楽しく取り入れることで、子どもたちの「からだづくり」に力を入れています。また、菜園活動を通して「五感

をつかって自然を感じる」ということで、「みる」「きく」「におう」「ふれる」「味わう」などの感覚をつかって、全身で自然(園庭の草木が四季折々に変化するようすなど)を感じとってほしいと思っています。子どもたちが、育てた野菜(じゃがいも・きゅうり・トマト・なす・オクラ・ブロッコリー・大根・さつまいも等)を使ったクッキング体験をしています。年齢は低いのですが、各年齢に応じたお手伝いをしてもらい、みんなで協力してやっています。

様々な経験を通して、ゆっくりひとりひとりの成長を見守っています。子どもたちが豊かな人間関係のなかで、命の大切さを言葉だけでなく感性としてとらえ、安易に人を傷つけることのできない資質を乳幼児期から養うことを大切にしたいものです。子どもたちをとりまく周りの大人たちが、常に温かいまなざしで「ここにいていいよ」と声かけできる関係こそが、子どもたちの笑顔へとつながっていきます。常に笑顔の絶えない日々を送ってほしいと願っています。



砂遊び



たけのこの皮めくり

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
丸山久志	森田泰雄	岡田久雄	村田晨吉	岩田武剛	木村壽

議会広報編集委員



(Y・M)

住民の皆様、如何お過ごしですか。
「井手町議会だより」、第38号をお届けします。
今回から、新メンバーが担当することになりました。旧メンバー同様宜しくお願いします。
残暑の続く中、どうぞお体の方は、ご自愛下さい。
皆様方のお元気が一番だと考え、全議員が一丸となって皆様方のご要望にお応えしていくよう鋭意努力していく所存です。
どうぞ何なりとお申しくだされば大変幸いです。

編集後記